

# 令和6年度 東永谷地域ケアプラザPDCAシート\_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

## 一総括表一

### ◆ 事業計画

#### □ 地域の現状と今後の方向性

担当地域は、大久保最戸地区、永谷地区（東永谷1～3丁目）、永野地区（上永谷1～3丁目）※になります。いずれも起伏の多い地域で、移動や買い物の支援が必要な高齢者等が多くなっています。また高台周辺は昭和30年代後半から開発された戸建住宅の新興住宅地で、高齢者夫婦のみの世帯や単身世帯が増加しており、今後は空き家問題の増加も予想されます。コロナ禍が長く続いたことで外出の機会が減り足腰が弱った方の介護保険利用が増えるなどの傾向も見られています。

今年度は第5期地域福祉保健計画（令和8年度～12年度）の策定開始の時期にあたるため、地域の皆様とともに次の5年間を見据えて地域における現状や課題、解決策等について考えるなど支援を行います。  
※新ケアプラザの開設に伴い、永野地区（上永谷1～3丁目）の担当は6月末まで。

#### □ 今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
□	■	高齢者サロン「ひなたぼっこ」等の自主事業、また地域の体操教室等様々な機会を捉えて支援が必要な方の情報を収集、必要に応じて包括へつなぐ
□	■	見守り協力事業者の連絡会を開催し、見守り意識の啓発を行うとともに、地域と事業者のつながりも構築する。
□	■	ひまわりホルダーやエンディングノート、見守り協力事業所等港南区独自のものについて、チラシ・広報紙・掲示板などを活用し、広く地域住民に周知する。
■	□	東永谷地区センターと男性向け講座「メンズ俱楽部」を開催する。
■	□	昨年度の講座「東永谷の子どもの今を考える」参加者と継続して子どもの支援について考える

### ◆ 事業報告・事業実績評価

#### □ 振り返り

・今年度は日常的な動きは継続しながらも、新しい取組も進められた一年だった。  
・高齢者向けのフレイル講座を地域で行い、その参加者に呼びかけてその地域でのサロンづくりの話し合いを行い、実際にサロンの立ち上げにつながるなど、高齢者の健康維持向上のために必要な「通いの場」づくりを支援することができた。  
・子どもの支援をについて考える中で見えてきた課題の一つである「子どもが主体的に考え、決め、実施できる場が少ない」という声を受けて、ケアプラザと地区センター共催のイベント「ふれあいまつり」のコーナーを考えてもらう「ふれあいまつり」を募集した。応募してくれた小学5年生2名はイベント内容を考え、準備し、当日運営についても中心になって頑張ってくれた。とても大変だったと思うが振り返りの中で2名から「この集まりを継続していきたい」という声が上がり続けることとなった。

#### □ 区からのコメント

地域で行ったフレイル講座の参加者に呼びかけ、高齢者サロンの立ち上げを支援していただいたことは大変素晴らしい取組です。また、子どもの支援に対しても、彼らが主体的に考え実行できる場を構築し、さまざまな経験を通じて子どもたち自身の学び・成長の機会を増やす取組を行うなど、地域のさまざまな課題に目を向け、常に地域と一緒に取り組みを進めていただいていることに感謝いたします。

地域と共に取組を進めていくには、人と人との繋がりが欠かせません。日頃から、地域の人々の活動にフォーカスをあてた広報誌を作成しているからこそ、その取材を通じて団体や地域の人々との関係性ができるのだと思います。

認知症事業については、地域の小・中学校2校で認知症サポート養成講座が毎年できているのは良い取組です。ぜひ、他の小学校や地域の各団体にも実施していただき、チームオレンジの担い手が増えることを期待しています。また、虐待の疑いのあるケースをケアマネジャーへ事業所が抱えてしまい、長期化・困難化するケースも増えています。すぐに対応が難しく、長期での見守り・対応が必要なケースも多いかと思いますが、定期的にケアマネジャーへの聞き取りを行うほか、可能な場合は包括からの直接訪問等の動きも検討していただくなど、引き続き、介入のタイミングを逃さない支援をお願いいたします。